友の会 NEWS

The National Museum of Modern Art, Kyoto
京都国立近代美術館

September 2011 No.21

展覧会のご案内

「織」を極める 人間国宝 北村武資展

Kitamura Takeshi: Master of Contemporary Weaving

2011 年 9 月 16 日（金）－10 月 30 日（日）

《碧地透文羅裂地》
1992（平成 4）年
文化庁蔵

古代から続く織である「羅」と「経錦」で重要無形文化財に指定され、二つの技の保持者（人間国宝）として現在も活躍している、北村武資の展覧会です。1935 年に京都で生まれ、西陣の製織業に入りますが、5 年後に退職し、以後西陣を回りながら技術の習得に励みます。1965 年伝統工芸日本染織展に初出品し、日本工芸会長賞を受賞。また同年日本伝統工芸展に初出品、初入選を果たし頭角を現しました。古代織の再現に留まらず、現代に生きる織として新しい世界に挑戦を続けている織人北村武資の世界を展覧するものです。

《重ね襷文羅コート》
1982（昭和 57）年
京都国立近代美術館蔵

《亀甲花文経錦着尺》
1983（昭和 58）年
東京国立近代美術館蔵

北村武資展の会期中の休館日や特別開館について

- 9 月 19 日（月）・10 月 10 日（月）は開館、
  各翌日の 9 月 20 日（火）・10 月 11 日（火）は休館します。
- 10 月 27 日（木）～ 30 日（日）は特別夜間開館を行っています。
  夜 8 時まで（入場は 7 時 30 分まで）開館しておりますので、
  是非ご利用ください。

友の会特別解説会

北村武資展では会期中、友の会会員の皆さまのために担当研究員による解説会を開催します。
今回は解説会の前に、北村武資先生のアトリエも訪問させていただきます。

日時：**2011 年 10 月 15 日**（土）午後 3 時～ 6 時

集合場所：京都国立近代美術館エントランス前

当日の予定：集合（午後 3 時）→タクシーで移動→アトリエ到着（午後 3 時 30 分）→見学（約 30 ～ 40 分）→アトリエ出発（午後 4 時過ぎ）→タクシーで移動→美術館到着（午後 5 時）→会場にて解説会（約 1 時間）

参加費：500 円（参加費は交通費です。）

募集人数：8 名

※ご希望の方は早めにご連絡ください。

申込方法

申し込み先：京都国立近代美術館 事業係
電話：075-761-4115
（月曜から金曜まで午前 10 時～午後 5 時）
※お申込の際は、お名前・会員番号をお伝えください。

講演会

「自作を語る」北村武資氏

日時：10 月 1 日（土）午後 2 時～ 3 時 30 分

会場：当館 1F 講堂

定員：100 名（聴講無料、午前 11 時より整理券配布）

「文様のうらに潜む生命力と文化的背景」（仮題）
立田洋司氏（静岡県立大学教授）

日時：10 月 8 日（土）午後 2 時～ 3 時 30 分

会場：当館 1F 講堂

定員：100 名（聴講無料、午前 11 時より整理券配布）

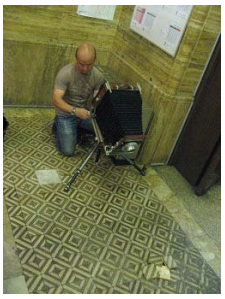
モホイ＝ナジ展解説会

9 月 4 日に終了した「視覚の実験室　モホイ＝ナジ / イン・モーション」展で、解説会を行いました。13 名がの会員の方が参加しました。

日時：2011 年 8 月 6 日（土）
午後 2 時～ 3 時
解説者：牧口千夏（当館研究員）
参加人数：13 名

みつめる写真館プロジェクト

当館客員研究員・林直の「みつめる写真館」プロジェクトでは、皆さんの思い出の物とそれにまつわるエピソードを募集しています。



７月に行われた京都市美術館での撮影風景をお伝えします。撮影の対象は、美術館の西正面玄関にある床タイルです。ある日、はがれてしまったタイルの裏面に「TAIZAN」と書かれているのを発見したことで、今まで職員が特定できずにいた「泰山タイル」が、玄関に敷き詰められたタイルのことだったと判明したそうです。80 年間近く、京都の美術史を見守ってきたこのタイルを撮影してほしいとの依頼から、撮影が実現しました。

お問い合わせ先　京都国立近代美術館 〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町
メール：mitsumeru@ma7.momak.go.jp
FAX: 075-752-0509

二週間限定公開の《黒船屋》をみて、夢二ゆかりの地・榛名山をめぐる友の会ツアー報告

7 月の友の会ニュースでお伝えした「夢二ツアー」に行って参りました！門外不出の竹久夢二の名作《黒船屋》を、 記念館の館長との案内で鑑賞、 熱意のこもった解説を聞くことができました。 2日目は現代美術のハラミュージアムアーク、 美術館に隣接するグリーン牧場、 榛名湖では夢二のアトリエも訪問し、 夢二も見たであろう榛名山と榛名湖の絶景に感動しました。 二日間の報告を写真と一緒にご覧ください。

１日目

まずは東京から上越新幹線「とき」で高崎へ。高崎からは在来線に乗って渋川まで移動。渋川駅から竹久夢二伊香保記念館まではバスで移動しました。

竹久夢二伊香保記念館

記念館の中へ。敷地内には夢二の傑作《黒船屋》をご覧いただける本館のみならず、「義山楼（ぎゃまんろう）」と呼ばれる明治・大正ガラスを公開している新館もありました。

名物・伊香保温泉街の石段

365 段の石段にも挑戦しました！頂上には伊香保神社がありました。

２日目

ハラミュージアムアーク

まずは現代美術のハラミュージアムアークへ。ユニークな屋外彫刻が目をひきました。

伊香保グリーン牧場

ミュージアムの隣の伊香保グリーン牧場では、シープドッグショーを観覧。羊の毛刈りも見ました。

榛名湖・榛名山

午後は榛名湖へ。夢二のアトリエでは、夢二も見たであろう榛名山の絶景をのぞみました。

榛名湖近辺の歌碑にも訪れました。

NFC 所蔵作品選集

MoMAK Films @ home 日本のドキュメンタリー

日本のドキュメンタリーの基礎を形成したといっても過言ではない
二人の映画作家、亀井文夫と下村兼史の作品を各日に特集します。

10 月 29 日（土）

Ⓐ 14:00-15:30

- 姿なき姿（1935）
- ハイキングの歌（1935）
- 信濃風土記より 小林一茶（1941）
- 富士の地質（1941）

Ⓑ15:45-17:04

- この一冬（1943）
- 制空（1945）

10 月 30 日（日）

Ⓐ 14:00-15:17

- 水鳥の生活―第一輯―（1939）
- 或日の干潟（1940）
- ちどり（1942）

Ⓑ 15:45-17:11

- こんこん鳥物語（1949）
- 或日の沼地（1951）
- 或日の草むら（1956）
- 特別天然記念物 ライチョウ（1967）

会場：京都国立近代美術館 1 階講堂　　主催：京都国立近代美術館
料金：１プログラム 500 円　　東京国立近代美術館フィルムセンター

友の会ニュース継続配信

友の会ニュースは今月号を最後に終了の予定でしたが、各種イベントや活動報告などをお知らせする媒体として、今後も継続配信されることになりました。
友の会の会員者数も増加傾向にあり、これからも皆さんに愛される美術館として、展覧会のみならずイベントなども積極的に開催し、愛される美術館を目ざします。
ご意見、ご要望などございましたら是非ご連絡ください。
今度ともよろしくお願い申し上げます。

（友の会事務局）